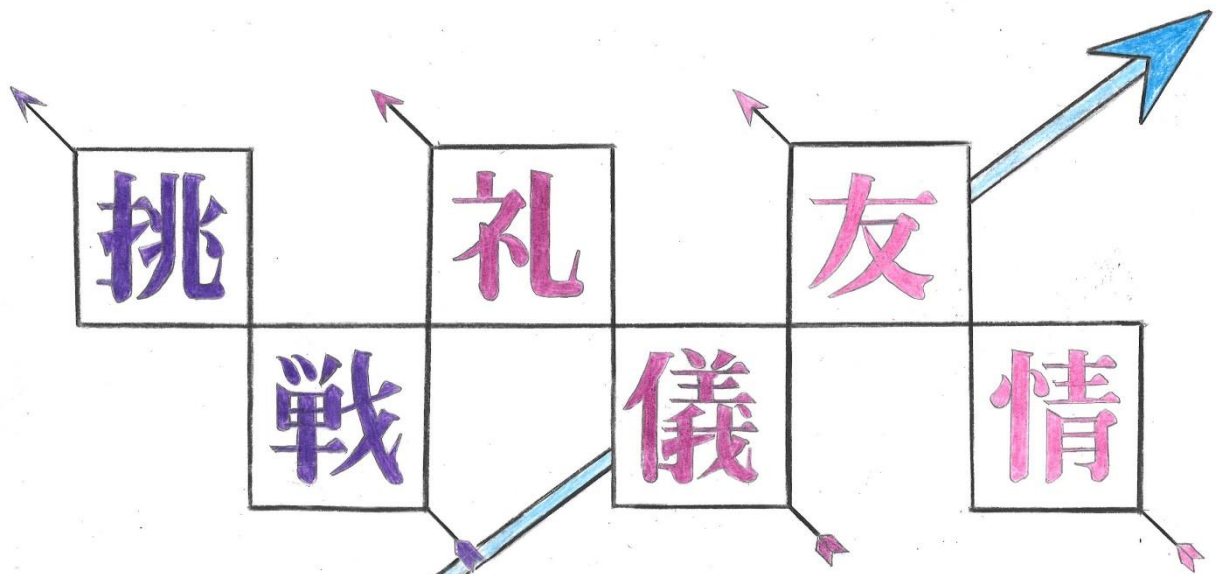
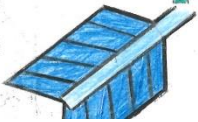


令和4年度 第1学年

P T A 懇談会資料



～誇りある学年に～



# 11月までを振り返って

## (1) 学習面を振り返って

各教科担当からのメッセージです。授業や課題の提出状況などを振り返って、生徒たちの様子や頑張りをお伝えします。

教科	授業の様子や課題及びアドバイス等
国語	<p>詩や小説、説明文など様々な作品に親しんできました。生徒達は感受性豊かに、それぞれの作品を味わい、言葉に対する感性や、ものの見方、考え方を養っています。9月には、書写にも時間をかけて取り組み、行書による作品も書きました。学ぶことに対する真剣さが、どの学級、どの生徒にも見られます。</p> <p>一方で、漢字や文法、古文などの知識の定着、読解力の向上は常に課題となる部分です。国語ワークの活用は学力向上に有効です。また、漢字練習は、一度に多くの字を覚えようとせず、少しずつ何度も練習するのが効果的です。</p>
社会	<p>地理分野では、「世界の姿」と「日本の姿」を学習しました。地図の見方や他の地域との比較ができるようになりました。しかし、時差の問題や都道府県名で苦勞している生徒が多いので、復習を繰り返して欲しいと思います。</p> <p>歴史分野では、「中世の日本」を学習しました。徐々に現在に近づき、現在と比較しながら歴史を学習することができて内容を理解するスピードも加速しています。分かりやすいノート作りを呼びかけたところ、多くの生徒が上手にまとめられるようになりました。</p> <p>ワークを一問ずつ納得するように解くと、さらに力が伸びます。</p>
数学	<p>7月の懇談資料に記述した内容と同様に、相談したり、教え合ったりしながら生徒たちは授業の課題に取り組んでいます。「隣の人に説明してみよう」というと、自分の考えを何とか相手に伝えようとしています。自分が分かっていると思っている内容でも、数学の言葉で説明するとなると意外と難しいと感じるようです。このような活動を続けていきたいと思います。</p> <p>第3章「方程式」は、数学の内容としても難しいものです。生徒たちの様子を見ると、理解が不十分な生徒が多いです。一方、第4章「量の変化と比例・反比例」では、グラフや表などイメージがしやすいこともあり、方程式よりも理解している生徒が多く感じられます。今後は図形の内容が中心となり、得意、不得意が分かれるところです。イメージすることを大切にしながら、学習を進めていきます。</p>
理科	<p>今までは、化学の単元を行っていました。小学校よりも難しい実験にも積極的に取り組んでいました。実験中の新たな気づきや疑問などもよく発言していました。今後は物理の範囲に入っていきます。光や音、力など身近な現象について考えていきます。実生活のイメージをもって授業ができるようにしたいと思います。</p> <p>また、この分野は数学と非常に関連があります。理科だけを勉強するのではなく、様々な教科をバランスよく勉強するのいいと思います。物理では、作図の問題も大切です。光や音、力などの目に見えないものをしっかりイメージすることが大切です。</p>

英語	<p>自分の憧れの人物についてプレゼンテーション形式で発表する授業では、誰もが楽しみながら授業に参加することができました。また、單元ごとに行う單元テストでは、休み時間を利用して学習する姿も見られました。徐々に難しくなっている内容に、友人と協力しながら理解を深めようとしている姿は素晴らしいと思います。テストの点数はもちろんですが、今後生きていく中で英語を利用する場面は必ずきます。その下地となる中学校英語をぜひ楽しみながら身に付けていってほしいと思います。「毎日使う！」ことが上達の第一歩です。がんばってください。</p>
音楽	<p>音楽科では、学級ごとの合唱曲に取り組みました。中学1年生は、変声期に差し掛かる時期となります。自分の声の高さに違和感を感じたり、なかなか声量を出せずに苦労したりした生徒もいたと思いますが、多くの生徒が一生懸命に取り組むことができました。特に、歌う時の声の音色や強弱などの音楽表現に関心をもって練習する姿が大変すばらしかったです。音楽の原点は歌にあるので、今後もほかの音楽活動に生かしてほしいと思います。</p>
美術	<p>毎時間、熱心に学習に取り組むことができました。絵文字のデザインでは、漢字と絵を組み合わせて、漢字のイメージがより伝わり易くなるアイデアを考えました。模様デザインの学習では、繰り返しを生かした模様を消しゴムはんこで制作中です。できた模様は、ブックカバーやレターセットなどに活用する予定です。これからも、生活の中で生かせる思考力、判断力、表現力を身に付け、美術の楽しさを味わってほしいと思います。</p>
技術科	<p>10月中旬に家庭科から技術科の授業に変わりました。最初のガイダンスの部分では、技術の見方・考え方を Jamboard というソフトを使い、個人で考えた後グループで話し合いをして、まとめることを行いました。グループでの話し合いや発表も積極的に行う姿が見られました。その後、身の回りの材料と加工の技術について、ワークシートを使い熱心に取り組んでいます。</p> <p>この後、製図や工具の使い方の学習を行い、木材を使ったものづくりを行います。作品の完成が楽しみです。</p>
保健体育	<p>9月からは創作ダンスを行いました。自分たちで振付を考えることは非常に難しいことです。しかし、友達と協力して意見を出し合ったり、他のグループのいいところを見つけ取り入れてみたりしながら、非常に熱心に取り組んでいました。発表会では、どのグループも個性を出しつつ楽しみながら表現しているのが印象的でした。</p> <p>10月下旬からは器械運動に入りました。タブレットを使用し、自分も相手も満足できる演技を目指して、練習を行っています。今から発表が私も非常に楽しみです。</p> <p>引き続き、友達と協力し、教え合いながら授業に取り組んでいってほしいと思います。</p>



## (2) 行事を振り返って

1 学年スタッフからのメッセージです。

2つの行事を振り返り、生徒たちの頑張りをお伝えします。

### スポーツフェスティバル

実行委員が中心となって作り上げたスポーツフェスティバルになりました。準備の段階から積極的に仕事を行っているのが印象に残っています。競技方法やルール決めでは男女平等になるようにするにはどうすればいいのか、他クラスと差がでないようにするためにはどこを工夫すればいいのかを考え、作り上げていました。体育祭が始まるまでは、ほぼ毎日放課後に残り、反省・準備の繰り返し。大変なことも多かったと思いますが、嫌な顔を一つもせずに取り組んでくれたり、「私やります!」「ここはこうした方がいいですか?」等自分でできることを見つけ、行動に移していたりしていたのが本当に素晴らしく、感心しました。

どの競技も各クラス、闘志を燃やしつつ、笑顔で楽しく行えたのは実行委員のみなさんの頑張りのおかげです。ありがとうございました。

また、保護者の皆様には、平日にも関わらず、多くの方にご来校いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。

### 稲穂祭、合唱祭

改めて、合唱の素晴らしさを感じた行事になりました。そもそも合唱とは「2つ以上の声部を組み合わせて大勢で歌うこと」を指します。しかし、ただ大勢が集まって歌うだけでは人の心を動かしたり、感動を与えたりすることはできないと思います。実行委員をはじめ、各パートリーダー、指揮者、伴奏者、そしてクラスメート全員が「良い合唱を、人に感動を与える合唱を」を考え、一生懸命練習していました。

初めの練習はお世辞にも良い歌声とは言い難いものでした。しかし、練習を重ねていく中で、徐々にハーモニーが生まれ、きれいな歌声に変わり、そして何より生徒たちの合唱に対する態度が大きく変わっていきました。放課後の練習だけではなく、休み時間に合唱曲を口ずさむ姿がとても印象に残っています。その成果が十二分に出た合唱祭だったと思います。どのクラスも心に響く素敵な合唱でした。行事後の感想に、多くの生徒が「来年はもっとうまく歌いたい」や「楽しかった」などが書かれていて、嬉しい気持ちになりました。感動をありがとうございました。

また、保護者の皆様には、多くの方にご来校いただき、ありがとうございました。感謝申し上げます。